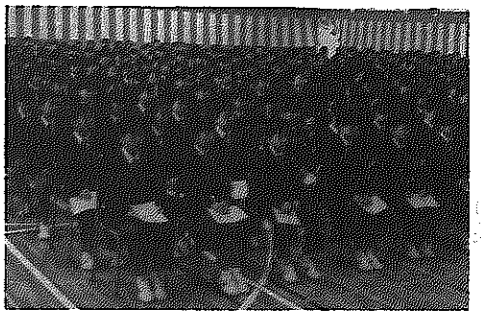


# 心を一つにして 新しい伝統を

400人の生徒で  
スタート

完成したばかりの白根北中学校で四月四日に開校式が、六日には第一回入学式が行われ、新しい学校のスタートを祝いました。開校式には新一年生ら四百六十六人の生徒全員と、地元関係者や教育関係者ら約百人が出席。真新しい制服に身を包んだ新一年生はやや緊張した面持ちで式に臨みました。滝沢市長は祝辞で「情報処理室など、他の学校に先駆けた施設の学校で、二十一世紀の担い手としての基礎を養ってほしい」とあいさつ。「新生白根北中学校」の門出を祝福しました。朝倉教育長から新三年生の遠藤みのりさんに校章のバッジが手渡された後、西塾校長と新三年生の五幣豊君が開校の決意を表明。「みんなで心



▲新1年生ら生徒全員が開校式に出席



▲開校の言葉を述べる五幣豊君

を一つにして新しい伝統を築いていきます」と述べました。校歌は現在、作曲を依頼中。学校では、秋には発表会を行いたいと話しています。

## 情報処理室など 特別教室を充実

白根北中学校は平成二年度に着工。大鷲中学校の老朽化や白根第一中学校の遠距離通学、四十人学級に伴う学級数の増加などを解消するために、建設を進めてきました。これにより、大鷲中学校は四十二年の歴史に幕を閉じ、第一中学校の一部が北中学校に統合されました。同校には大通、根岸、大鷲の三つの小学校の校区の生徒が通学します。

校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、建設工事費十六億五千八百七十六万円で建設。十二の普通教室

## 学校概要

### 所在地

白根市大字鷲ノ木新田4814

面積 敷地面積 38,506㎡

建築面積 校舎棟=2,022㎡ 体育館=1,892㎡ 延べ床面積 校舎棟=4,445㎡ 体育館=1,780㎡ 屋外運動場面積=19,405㎡

### 構造

校舎棟 鉄筋コンクリート3階建て  
普通教室12 特別教室13  
多目的室1 管理諸室  
屋内体育館 鉄筋コンクリート2階建て(一部鉄骨)  
アリーナ クラブハウス  
柔剣道場

建設工事費 16億5,876万円

工期 平成2年10月5日~平成4年10月31日

### 校章



「北」を図案化し、全体に円みを持たせて心の豊かさを表現したもの。下の部分の厚みはたくましさ表現。人をかたどった「北」は自主的精神と創造の姿を表す。「北」で「中」を囲み、友愛と協力を表現するとともに、未来に向かって躍動、発展する未来像を表現した。

▶前列左から今道さん、宮北さん、小野寺さん  
後列左から山田君、橋本君、村木君



## みんなの力で 素晴らしい学校に

### ●山田卓史君(三年)

一中の仲間たちと別れるのは寂しかったけれど、新しい仲間ができましたから。素晴らしい校舎で、外見もカッコいいですね。ただ、ちよつと階段が狭い感じがします。一中のときと比べると、クラスの人数が減りましたが、みんなで仲良く頑張っていきたいです。

### ●今道保江さん(三年)

情報処理室があつて、そこにコンピュータが入るといふことで、すごいと思います。設備が整っていますし、体育館には柔剣道場があつて、とても良い学校です。

生徒会の活動はまだ始まっていませんが、いろいろな行事などがきちんとできるように頑張りたいと思います。

●橋本昭人君(二年)  
友達が増えて良かったです。校舎にエレベーターがあつているのがすごいですね。え、あれ身障者用なんですか？  
行事などがまだ決まっていなくて、大変だと思うけれど、自分たちで工夫して、盛り上げていきたいと思つています。

●宮北琴代さん(二年)  
大鷲中のときと比べて部活がすごく増えたから、うれしいです。校舎の窓も明るくて大きいし、新しい校舎は気持ちがいいですね。統合してできた学校ですが、一中出身とか、大鷲中出身とか無くして、みんなで協力できる学校にしていきたいと思つています。

●村木謙一君(一年)  
コンピュータが使える情報処理室があるのが魅力です。校舎も明るくて広いし、良いと思つています。部活はまだ決まっていなくて、サッカーをやろうと思つています。三つの小学校から集まったわけですが、全校が一つになれるように、みんなで頑張ります。

●小野寺茜さん(一年)  
ブレザータイプの制服は、すごくいいついでいうわけじゃないけど、あんまり悪くもないかな。ちよつと胸の校章が大きすぎるみたい。部活は美術に入ろうと思つています。絵を書くのが好きなので。楽しい学校になりました。

## 市政短信

### 生産性の高い 農業を目指して

#### ―第五次農業振興計画―

市は農業振興のための第五次農業振興計画を作成。農業施策の基本方向を示しました。

この計画は平成二年を基準年次に、平成七年を目標年次とする五カ年計画。近年の高度情報化、高速交通体系化、国際化など、農業を巡る新しい状況を踏まえて、本市農業の現状や課題、主要指標の見直しを行ったものです。計画は今後の構造政策や生産流通に重点をおいて計画。農協で作成した「アグセス1000」など、関係諸計画との整合性にも十分配慮しています。

同計画は農政審議会で審議された後、三月三十日、滝沢市長に答申。本市農業振興の基本計画として、今後の施策に反映されます。

計画の骨子は次のとおり。

1. 基本課題
- ①生産性の高い農業と周年農業の推進
- ②担い手の育成・確保
- ③園芸生産地の拡充
- ④園芸生産物の広域的出荷推進
- ⑤生産組織化と集落営農の推進
- ⑥農業生産基盤の整備促進
- ⑦先端技術の導入と特産作物の開発
- ⑧活力と潤いある村づくり
2. 主要施策
- ①中核的農家を重点にした施策の実施
- ②生産組織を積極的に育成
- ③高生産農家の育成
- ④後継者が定着し、生き生きと活動できる環境づくり
- ⑤効率的な水田農業の推進と園芸生産の拡大
- ⑥大規模な近代化施設を整備
- ⑦良質米安定生産のため、ハイランク白根米運動を展開
- ⑧広域的な主産地を形成し、白根ブランドを強化
- ⑨パソコンの導入や地域情報システム化を検討
- ⑩地域おこしの推進



▶市長に答申を手渡す上杉農政審議会会長